

健康保険被扶養者(異動)届及び国民年金第3号被保険者にかかる届書の記入にあたって

1枚目の健康保険被扶養者(異動)届には、2枚目の国民年金第3号被保険者の届書にのみ必要な記入欄(網掛け部分)を設けてありますが、健康保険被扶養者(異動)届のみを届出する場合は、網掛け部分は記入する必要はありません。また、国民年金第3号被保険者の届書を同時に届出する場合は、網掛け部分と、2枚目の国民年金第3号被保険者の届書の届出人欄を必ず記入してください。

【記入上の注意】

- この届書は複写式になっていませんので、文字は、ボールペンを用いて楷書ではっきり記入してください。
- ★印の箇所は、該当する項目の数字等を○で囲んでください。
- ※印の箇所は、記入しないでください。
- 生年月日や資格取得年月日など年月日を記入する場合は、たとえば、平成14年4月1日の場合は、

明 年 時 分	年	月	日
14	4	04	01

のように記入してください。

【記入の方法】

- ④は、被保険者資格取得届と同時に提出するときは記入しないでください。それ以外の場合は、被扶養者が増えたときは「追加1」を、減ったとき又は被扶養者の氏名等に変更があったときは「削除(変更2)」を○で囲んでください。
- (シ)及び(ス)は、その他の場合は、カッコ内に理由を記入してください。なお、75歳に到達し、後期高齢者医療の被保険者となった場合は、(ス)欄のその他のカッコ内に「75歳到達」、一定の障害をお持ちで広域連合の認定を受け、後期高齢者医療の被保険者となった場合は、「障害認定」と記入してください。
- 配偶者の生年月日は、生年月日に訂正のない場合は、「⑦生年月日」のみを記入し、「⑦生年月日(訂正後)」は記入しないでください。訂正がある場合は、「⑦生年月日」及び「⑦生年月日(訂正後)」を記入してください。
- ⑨は、被保険者との続柄を、「夫」、「妻」、「父」、「母」、「子」、「祖父」、「祖母」などと記入してください。
- (セ)は、その実態がわかるように、「主婦」、「年金受給者」、「小学生」、「中学生」、16歳以上の学生の場合は「高校〇年」等と記入してください。
- (ソ)収入については、非課税対象となる年金(障害・遺族)、失業給付、障害手当金等も含まれます。
- ⑩は、被保険者資格取得届と同時に提出する方については、(エ)の「資格取得年月日」を記入し、その後に増えた方については、「出生年月日」、「婚姻年月日」などを記入してください。
- ⑪は(ス)及び(ハ)欄の理由が就職の場合は、「就職年月日」を、死亡の場合は、「死亡日の翌日」を記入してください。また、後期高齢者医療の被保険者となることにより被扶養者でなくなる場合は、当該被保険者となった日を記入してください。
- (チ)及び(ツ)は、配偶者の住所・郵便番号を記入してください。(住所は、都道府県名から記入してください。)その他の被扶養者については、(フ)欄に被保険者との生活状況について該当するほうに○で囲み、⑬欄に住所地(都道府県名)を記入してください。なお、別居の場合は、1月あたりの仕送り額を(タ)欄に記入してください。(遠隔地の大学等へ進学するため別居している昼間の学生を除く。)
- (ノ)は、被扶養者でない配偶者を有するときに記入してください。
- (ハ)は被扶養者になったときは、「出生」、「離職」など、被扶養者でなくなったときは、「就職」、「死亡」などの事実を具体的に記入してください。なお、75歳に到達し後期高齢者医療の被保険者となった場合は、⑫の「1. 75歳到達」に、一定の障害をお持ちで広域連合の認定を受け、後期高齢者医療の被保険者となった場合は、「2. 障害認定」を○で囲んでください。この場合、(ハ)の記入は不要です。
- ⑥は、氏名の変更(訂正)を行う場合は、変更(訂正)前の氏名を記入のうえ二重線で抹消し、その上段に変更(訂正)後の氏名を記入してください。
- ⑧は、性別の訂正を行う場合は、訂正後の性別を○で囲んでください。
- 第3号被保険者(20歳以上60歳未満の配偶者)に関する届出を行うときは、以下のとおり記入してください。
 - (ウ)は、死亡又は氏名等の変更(訂正)の届出を行う場合に記入してください。
 - (カ)は、被扶養者になったときの届出を行う場合に記入してください。
被保険者が基礎年金番号を持っていない場合は、この届書の2枚目の「組合(保険者)番号」欄に、加入年金制度の組合(保険者)番号を記入してください。
 - (コ)は、配偶者の基礎年金番号又は手帳記号番号を記入してください。
 - (サ)は、基礎年金番号の他に年金手帳番号を持っている場合に記入してください。
 - (デ)は、氏名の変更(訂正)の届出を行う場合に記入してください。
 - (ト)は、被扶養者になったときの届出を行う場合又は氏名の変更(訂正)の届出を行う場合に記入してください。
 - (ナ)は、被扶養者になったときの届出を行う場合に記入してください。
 - (ニ)は、被扶養者になったときの届出を行う場合、この届書の2枚目の(注)を参照し、被保険者の加入する年金制度に該当する2けたの数字を記入してください。
 - この届書の2枚目右下の届出人記入欄に、この届書の提出年月日、届出人の住所、氏名及び電話番号を記入し、押印してください。(配偶者が記入した場合は押印の必要はありません。)

【この届書に添付して提出するもの】

- 16歳以上の方を被扶養者として届け出る場合(昼間の学生を除く)は、その方が被保険者によって生計を維持されていることを証明できる「課税(非課税)証明書」など。
年金収入のみの方は、現在の年金受給額がわかる「年金額改定通知書のコピー」など。
(所得税法により規定されている控除対象配偶者・扶養親族となっている場合は、事業主の確認により省略できます。その場合は、(ヘ)欄に○を記入してください。ただし、非課税対象となる収入がある場合には、その支給金額のわかる書類を添付してください。)
- 昼間の学生(高校生、大学生、専門学校生等)の収入に関する証明は、「(セ)職業」の欄に学校の種類、学年を記入することで添付の必要はありません。
- 被保険者の直系尊属、配偶者、子、孫及び弟妹以外の方を被扶養者として届け出る場合は、その方が被保険者と同一世帯に属していることを証明できる「住民票の写し」など。
- 第3号被保険者(20歳以上60歳未満の配偶者)に関する届出を行うときは、以下の書類。
 - 「配偶者の年金手帳」など。(配偶者が死亡した場合を除く。)
 - 被扶養者になったときの届出を行う場合は、「健康保険の被保険者の年金手帳」など。
※ 事業主が健康保険の被保険者の基礎年金番号、配偶者の基礎年金番号を確認・証明する場合は、年金手帳は添付する必要はありません。
- 就職等により被扶養者でなくなったときや被扶養者の氏名等に変更があったときに届け出る場合は、その方の「被保険者証」。
※ やむを得ず当該被保険者証を添付できない場合は、「健康保険被保険者証回収不能・滅失届」を添付してください。

配偶者の扶養増減の書き方

注：増の場合は、2枚目に届出人の署名が必要です。

記入にあたっての注意事項

- ・用紙は2枚になっています。
- ・ は必須項目です。必ずご記入ください。
- ・被保険者の基礎年金番号は、事業所担当者にて記入します。
- ・被保険者欄に加え、配偶者である被扶養者欄を必ずご記入ください。

届出コード	処理区分	届書

健康保険被扶養者（異動）届

所長	次長	課長	係長	係員

①健康保険被保険者の氏名 フリガナ ケンボ (氏) (名) クロウ (姓) 太郎 (健康保険印)		②生年月日 ★明. 1 年 月 日 大. 3 月 日 昭. 5 年 月 日 平. 7 年 月 日	③性別 ★男1 女2 (変更)	④異動の別 ★追加1 ★削除2 (変更)	⑤変更内容 1.死亡 2.氏名変更(訂正) 3.生年月日訂正 4.性別訂正 5.その他	⑥資格取得年月日 年 月 日	⑦標準報酬月額 千円	送信				
⑧基礎年金番号又は手帳記号番号 ※ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		⑨配偶者共済番号表示 ※ 1. 配偶者共済番号表示 0 0 0 0 0 0 0 0	⑩被保険者の住所 ※住所コード (フリガナ) 〇〇ケン〇〇〇〇マチ 〇〇県〇〇市〇〇町1-1			⑪備考						
⑫配偶者基礎年金番号又は手帳記号番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		⑬生年月日(訂正後) ★明. 1 年 月 日 大. 3 月 日 昭. 5 年 月 日 平. 7 年 月 日	⑭手帳記号番号	⑮被扶養者(第3号被扶養者)になった理由 ★ア.被保険者が被用者保険制度に加入 イ.被保険者の所属する年金制度の変更 a.厚生年金保険→共済組合 b.共済組合→厚生年金保険 c.非該当組合→非該当者 ★カ.被扶養者の喪失(2号喪失) イ.被扶養者の所得減少 カ.その他()		⑯被扶養者(第3号被扶養者) ★死亡 その他()						
⑰被扶養者の氏名 フリガナ ケンボ アイコ (氏) (名) 健保 愛子		⑱生年月日 ★明. 1 年 月 日 大. 3 月 日 昭. 5 年 月 日 平. 7 年 月 日	⑲性別 ★男1 女2	⑳続柄 無職	㉑収入 無し	㉒被扶養者になった日 年 月 日	㉓被扶養者でなくなった日 年 月 日	㉔被扶養者証 ※ 添付 返不能 該失				
⑳郵便番号 0 0 0 0 0 0 0 0		㉑住所コード 〇〇ケン〇〇〇〇マチ 〇〇県〇〇市〇〇町1-1	㉒氏名変更(訂正)年月日 年 月 日		㉓国籍 ★0.日本人 1.米国人(強制) 2.1以外の外国人	㉔被扶養者通称 (フリガナ)	㉕強制付番指定 ※ 1.強制付番指定	備考				
㉖被扶養者でない配偶者を有するときに記入してください		㉗配偶者の年間収入 円	㉘被扶養者の年間収入 円		㉙同居・別居の別 1.75歳到達 2.障害認定 同居・別居 1.75歳到達 2.障害認定 同居・別居 1.75歳到達 2.障害認定 同居・別居				㉚備考			
㉚被扶養者の氏名 フリガナ (氏) (名)		㉛生年月日 ★明. 1 年 月 日 大. 3 月 日 昭. 5 年 月 日 平. 7 年 月 日	㉜性別 ★男1 女2	㉝被扶養者になった日 年 月 日		㉞被扶養者でなくなった日 年 月 日	㉟理由 1.75歳到達 2.障害認定 同居・別居	㊱解除事由 1.75歳到達 2.障害認定 同居・別居	㊲同居・別居の別 1.75歳到達 2.障害認定 同居・別居	㊳所在地 (都道府県)	㊴被扶養者証 ※ 添付 返不能 該失	㊵備考

該当するいずれかの日付を記入してください。
例：扶養に入れる場合
⑩に扶養者になった年月日を和暦で記入。

同居の場合は「同居」とだけ記入。

(事業主が確認した場合に○を記入してください)
被扶養者に関する証明の添付が省略されている者は、所得税法上の控除対象配偶者・扶養親属であることを確認しました。

平成〇〇年〇〇月〇〇日提出

上記のとおり被扶養者から被扶養者の届出がありましたので提出します。

事業所在地
事業所名称
事業主氏名
電話番号 (局) 番

平成 年 月 日提出

扶養に関する申立書
(添付書類が提出できない事情にある場合に記入して下さい。)

上記の事実と相違ありません。 氏名

社会保険労務士の提出代行印

社会保険事務所受付印

届書コード	処理区分	届書

資格取得・種別変更・種別確認（3号該当）
国民年金第3号被保険者資格喪失・死亡届
氏名・生年月日・性別変更（訂正）

所長	次長	課長	係長	係員

◎被扶養者の届出が、配偶者（20歳以上60歳未満）以外の場合および配偶者であっても被扶養者から削除される場合（国外に居住している者が被扶養者でなくなった場合及び死亡の場合は除く）は、この届書は提出する必要はありません。

第3号被保険者の配偶者欄	配偶者の氏名		配偶者の生年月日		第3号該当・非該当 ★該当 ★非該当（変更）	変更内容 （非該当（変更）の場合） ★1. 死亡 ★2. 氏名変更（訂正） ★3. 生年月日訂正 ★4. 性別訂正 ★5. その他	
	フリガナ ケンボ (氏)	タロウ (名)	★明. 1 年 月 日 大. 3 昭. 5 平. 7	〇 〇 〇 〇 〇 〇			
配偶者基礎年金番号又は手帳記号番号		共済番号表示	郵便番号	配偶者住所			(備考)
		※1. 配偶者共済番号表示	〇 〇 〇 - 〇 〇 〇 〇	〇〇県〇〇市〇〇町1-1			

第3号被保険者欄	基礎年金番号又は手帳記号番号		生年月日（訂正後）		手帳記号番号		資格取得・種別変更・種別確認の理由		第3号被保険者でなくなった理由			
	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇		★明. 1 年 月 日 大. 3 昭. 5 平. 7				★ア. 配偶者が被用者年金制度に加入 イ. 配偶者の所属する年金制度等の変更 ロ. 厚生年金保険→共済組合 ハ. 共済組合→厚生年金保険 ニ. 共済組合→共済組合 ホ. その他		★死亡 その他（ ）			
	被保険者氏名		⑦ 生年月日		性別		資格取得（種別変更・種別確認）年月日		死亡等年月日			
	フリガナ ケンボ (氏)		アイコ (名)		★明. 1 年 月 日 大. 3 昭. 5 平. 7		男 1 女 2					
郵便番号		被保険者住所（配偶者と別居の場合のみ記入）		氏名変更（訂正）年月日		外国人区分		被保険者通称名		種(性)	強制付番指定	年金手帳作成
〇 〇 〇 - 〇 〇 〇 〇		〇〇県〇〇市〇〇町2-2		年 月 日		★0. 日本人 1. 米国人（強制） 2. 1以外の外国人		フリガナ			※1. 強制付番指定	★1. 年金手帳再交付
訂正後取得年月日・種別		要年金手帳添		受注県施設表示		納付書抑止表示		送 信				
※ 年 月 日 ※1. 第1号第3号 2. 任意		※1. 宛名シール作成		※下記以外は省略 1. 66歳以上、かつ被保険者が受給権を有さないことと確認された場合		※1. 納付書作成しない		送 信				

配偶者が基礎年金番号を持っていない場合のみ加入年金制度の組合（保険者）番号を記入してください。

組合（保険者）番号

同居の場合は「同居」とだけ記入。

各事業所担当者
受付印

事業主等受付年月日

※ 社会保険事務所	
受付印	被扶養者認定

届出人の署名が必要です

上記のとおり被保険者から第3号関係の届出がありましたので提出します。

○ 届書記載の基礎年金番号又は年金制度の記号番号は、当該配偶者のものに相違ないことを確認する。

平成 年 月 日提出

〒 ー

事業所所在地
事業所名称
事業主氏名
電 話 (局) 番

上記のとおり被保険者から第3号関係の届出がありましたので提出します。

○ 届書記載の被保険者は、健康保険又は共済組合に加入している者の被扶養者であることを確認する。

認定年月日 平成 年 月 日
（資格取得（種別変更・種別確認）年月日と同じ場合は記載の必要はありません。）

平成 年 月 日提出

〒 ー

（医療保険者）
所在地
名称
代表者等氏名
電 話 (局) 番

この届書記載のとおり届出します。

社会保険事務所長 殿

平成 年 月 日提出

（住 所 〒 ー

届 出 氏 名

人 電話番号 (局) 番

この届書記載のとおり提出します。

日本年金機構理事長あて

平成 年 月 日提出

住 所 〒120-0022

東京都杉並区高井戸2-3-4

(届出人) 氏 名 **年金 花子** 印

電話番号 **03 (4321 局) 5678** 番

配偶者以外の扶養の増減の書き方
(異動者のみ記入すること！)

記入にあたっての注意事項

- ・用紙は2枚になっています。
- ・ は必須項目です。必ずご記入ください。
- ・被保険者の基礎年金番号は、事業所担当者にて記入します。
- ・配偶者である被扶養者欄（中段）は記入しないでください。

届書コード	処理区分	届書

健康保険被扶養者（異動）届

所長	次長	課長	係長	係員

正

① 届出部分の記入は必要ありません。ただし、この届書の3枚目の国民年金第3号被保険者にかかると同時に、被保険者本人が自ら署名する場合には、被保険者本人の押印は必要です。被保険者本人以外の方の押印は省略できます。

① 健康保険被保険者の氏名 フリガナ ケンボ (氏) 健保	② 健康保険被保険者の氏名 フリガナ タロウ (氏) 太郎	③ 生年月日 ★明. 1 年 月 日 大. 3 昭. 5 平. 7	④ 性別 ★男1 ★女2	⑤ 異動の別 ★追加1 ★削除2 (変更)	⑥ 変更内容 ★1. 死亡 ★2. 氏名変更 (訂正) ★3. 生年月日訂正 ★4. 性別訂正 ★5. その他	⑦ 資格取得年月日 年 月 日	⑧ 標準報酬月額 千円
⑨ 基礎年金番号又は手帳記号番号 ※ 1. 配偶者共済 番号表示 00000000	⑩ 共通番号表示 00000000	⑪ 郵便番号 〒 000000	⑫ 住所コード ※ 住所コード	⑬ 被保険者の住所 (フリガナ) ○○県○○市○○町1-1		⑭ 備考	
⑮ 配偶者基礎年金番号又は手帳記号番号		⑯ 生年月日 (訂正後) ★明. 1 年 月 日 大. 3 昭. 5 平. 7	⑰ 手帳記号番号		⑱ 被扶養者 (第3号被保険者) になった理由 ★ア. 被保険者が被用者保険制度に加入 ウ. 婚姻 エ. 被扶養者の退職 (2号喪失) オ. 被扶養者の所得減少 カ. その他 ()		⑲ 被扶養者 (第3号被保険者) ★ 死亡 その他 ()
⑳ 被扶養者の氏名 フリガナ (氏) 太郎		㉑ 生年月日 ★明. 1 年 月 日 大. 3 昭. 5 平. 7	㉒ 性別 ★男1 ★女2		㉓ 被扶養者でなくなった日 年 月 日		㉔ 被扶養者証 添付 返不能 減失
㉕ 郵便番号		㉖ 住所コード		㉗ 被扶養者の住所 (フリガナ)		㉘ 種別 ※ 1. 強制付帯 指定	㉙ 年金手帳作成 ★ 1. 年金手帳 再交付

記入しないでください。

⑳ 被扶養者でない配偶者を有するときに 記入してください	配偶者の 年間収入	円	被保険者の 年間収入	円
---------------------------------	--------------	---	---------------	---

㉚ 被扶養者の氏名 フリガナ ケンボ (氏) 健保	㉛ 生年月日 ★明. 1 年 月 日 大. 3 昭. 5 平. 7	㉜ 性別 ★男1 ★女2	㉝ 職業 長男	㉞ 収入 000000	㉟ 被扶養者になった日 年 月 日	㊱ 被扶養者でなくなった日 年 月 日	㊲ 理由 出生	㊳ 解除事由 1. 75歳到達 2. 障害認定	㊴ 同居・別居 同居・別居	㊵ 所在地 ※ 添付 返不能 減失	㊶ 備考
㊷ 被扶養者の氏名 フリガナ (氏) 太郎	㊸ 生年月日 ★明. 1 年 月 日 大. 3 昭. 5 平. 7	㊹ 性別 ★男1 ★女2	㊺ 職業	㊻ 収入	㊼ 被扶養者になった日 年 月 日	㊽ 被扶養者でなくなった日 年 月 日	㊾ 理由	㊿ 解除事由	㊽ 同居・別居	㊽ 所在地	㊽ 備考
㊿ 被扶養者の氏名 フリガナ (氏) 太郎	㊽ 生年月日 ★明. 1 年 月 日 大. 3 昭. 5 平. 7	㊾ 性別 ★男1 ★女2	㊿ 職業	㊾ 収入	㊾ 被扶養者になった日 年 月 日	㊿ 被扶養者でなくなった日 年 月 日	㊿ 理由	㊿ 解除事由	㊿ 同居・別居	㊿ 所在地	㊿ 備考

③ 続柄
子については、長男・
次男・長女・次女等記
入すること。

(事業主が確認した場合に○を記入してください)

㊿ 本人に関する証明が省略されている者は、所得税法
であることを確認した。

平成○○年○○月○○日提出

上記のとおり被保険者から被扶養者の届出がありましたので提出します。

事業所在地
事業所名称
事業主氏名
〒 平成 年 月 日提出
(局) 番

扶養に関する申立書
(添付書類が提出できない事情にある場合に記入して下さい。)

上記の事実と相違ありません。氏名 ㊿

社会保険労務士の提出代行者印
㊿

社会保険事務所受付印

送信

送信